

今回は、1年生の夏季探究活動（流星群観測）の報告です。

◇ ペルセウス座流星群の観測を行いました！

日時： 2020年8月13日（木）18:00～21:00

場所： 関高等学校グラウンド

参加者： 自然科学部天文班 外部指導者

ペルセウス座流星群は三大流星群のひとつで、条件がよい時に熟練した観測者が見ると、1時間あたり80個以上の流星が観測できるそうです。極大の時期がお盆の直前なので、夏休みなどの時期と重なり、多くの方が観測しやすい流星群といわれています。

関高校自然科学部天文班では、最も観測しやすい8月13日（木）を選んで、野外観測を行うことにしました。流星群観測に先立ち、望遠鏡で南の空に明るく光る木星と土星を観測しました。関高校は校庭が広いので、グラウンドを利用して広々とした夜空を観察することができました。流星群の観測結果は以下の通りでした。

19:30～21:00（100分間）

- ・合計 17個
- ・1時間あたりの個数(HR) 10.2個
- ・雲量0、理想的な明るさでの1時間あたりの個数(CHR) 62.56個

○色

- ・白 9個
- ・黄 4個
- ・不明 4個

○流星痕

- ・あり 5個
- ・なし 12個

<感想> 今回初めて流星群の観測を行い、いろんな不安はありましたが、無事に観測でき、結果を得ることができて安心しました。また、部員の多くが流星を見た経験がほとんどなかったということで、貴重な経験を楽しむことができました。

結果としては思ったより良いデータが得られたと思います。昨日の観測終了の時点では、あまり流星の数が多くなかったと感じましたが、集計し、計算してみたところ、1時間に約60個流れていたという理論的にもいい値だったので、いい観測ができていたと思います。ただ、記録の方法がまだまだなので、これからも流星群の観測を行っていき、より正確に観測できるようにしたいです

今回は以前天文班の指導をされていた方にご指導を受けました。関高の天文班員は以前、関市の天文観察会のボランティアに参加していました。機会をみつけ、私たちも地域の天文観察会に参加する予定です。

https://school.gifu-net.ed.jp/seki-hs/sgh/html/pdf/h30_sghjoho_64.pdf

